

成果の説明書

(氏名) 安田 慎	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
研究・書籍	
(1) 安田慎. 2022. 「トラベル・ライティングが生み出す魔力：コンタクト・ゾーンとしての E・レインのエスノグラフィー」 遠藤英樹編『フィールドワークの現代思想』ナカニシヤ出版、pp. 129-139.	
(2) バーンズ, R. 2023. 『ダマスクス：都市の物語』松原康介編訳、前田修・谷口陽子・守田正志・安田慎共訳、中央公論美術出版（第 14 章～第 16 章翻訳担当）。	
研究・学術論文	
(3) 安田慎. 2023. 「ヨルダンにおけるキリスト教遺産：マグタスの宗教的権威と正当性をめぐるキリスト教のグローバル・モビリティ」山田重郎編『都市文明の本質：研究成果報告 2022 年』都市文明の本質事務局、pp. 261-270.	
研究・学会／研究会発表	
(4) 安田慎. 2022. 「COVID-19 後の観光のサステナビリティ：モルディブ観光をめぐる社会的ジレンマ」観光学術学会 第 12 回年次大会、オンライン開催。	
事典項目・エッセイ等	
(5) 安田慎「巡礼・参詣（アラブ）」（pp. 164-165）、「イスラミック・ツーリズム」（pp. 440-441）イスラーム文化事典編集委員会編『イスラーム文化事典』丸善出版.	
(6) Yasuda, S. 2023. Book Review: <i>Tourism and Development in Southeast Asia</i> . Ed. by Claudia Dolezal, Alexander Trupp, and Hounq T. Bui, New York: Routledge, 2020. <i>Asia-Japan Research Academic Bulletin</i> , 4, No. 73 (https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=561066) .	
(7) 立命館大学アジア・日本研究所、Asia Map 内記事	
・「<総論>モルディブという国」 (https://www.ritsumei.ac.jp/research/aji/area_map/maldives/country/)	
・「<エッセイ>シリアの都市：ダマスカス旧市街のシーア派」 (https://www.ritsumei.ac.jp/research/aji/area_map/syria/essay02/)	
その他	
・科研費・基盤研究（B）において、計 2 回の研究会を開催した。なお、新型コロナウイルスにともない対面での国際ワークショップの開催が困難であったことから、来年度の実施を行う計画へと変更を行った。	
・査読論文（国際誌 1 本、国内誌 3 本）を担当した。	
・上智大学グローバル・スタディーズ研究科の博士学位論文の学部審査委員を務めた。	
教育：	
・担当科目（学部：基礎演習、演習I、演習II、卒業論文）を担当した。卒業論文では、3 期生 12 名の卒業論文集を発行した。	
・ゼミ生 2 名（4 年）が、7 月に観光学術学会において学生ポスター発表を行った。	
・ゼミ生 2 名（3 年 1 名、4 年 1 名）が地域政策学会・学生懸賞論文に応募し、うち 1 名（4 年）が論文奨励賞を受賞した。	

- ・ゼミ活動の一環として、前橋（8月）における有志のフィールドワークを実施した。また、対面・オンラインで随時ゼミ・イベントを開催してきた。
- ・ゼミ生有志（2年・3年）で3月9-13日の日程でタイ・バンコクにおいてCOVID-19以後の国際観光の状況を調査する海外フィールドワークを実施した。
- ・横浜市立大学有馬貴之ゼミと、合同ゼミを高崎（9月）と横浜（1月）で実施し、ゼミ生（4年生）が卒業論文の中間報告と最終報告を行った。
- ・大学院早期履修生・大学院進学希望者ととともに春休みセミナーを計5回実施し、先行研究の文献購読、ならびに議論を行った。

社会貢献：

- ・あすなろ市民ゼミの講師（「観光を通じて、私たちはいかに地域社会を形作ってきたのか？」）を担当した（2022年9月15日）

2 その他の事項

共同研究等：

- ① 科研費 基盤研究（A）「イスラームおよびキリスト教の聖者・聖遺物崇敬の人類学的研究」研究分担者
- ② 科研費 学術変革領域研究（A）「イスラーム経済のモビリティと普遍性」研究分担者
- ③ 科研費 基盤研究（B）「観光学 3.0 へ向けたツーリズム・モビリティの再考」研究分担者
- ④ 科研費 基盤研究(A)「イスラーム神秘主義の構造的理解：スーフイズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」研究協力者
- ⑤ 科研費 学術変革領域研究（A）「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」研究協力者
- ⑥ 科研費 基盤研究（A）「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」研究協力者
- ⑦ 高崎経済大学地域科学研究所研究プロジェクト「現代の地域におけるリーダーシップのあり方の研究」プロジェクト・メンバー

委員等：

- ① 観光学術学会 評議員、将来構想具体化委員会、『観光学評論』編集委員
- ② Journal of Islamic Tourism Associate Editor
- ③ International Journal of Religious Tourism and Pilgrimage Editorial Board
- ④ Institute for Religious Tourism and Pilgrimage Science Committee
- ⑤ 日本地域政策学会『地域政策研究』編集委員、関東支部監査
- ⑥ 京都大学イスラーム地域研究センター『イスラーム世界研究』編集委員
- ⑦ ぐんまダイバーシティネットワーク 機関代表者
- ⑧ 高崎経済大学 地域政策学会 理事

3 次年度以降の計画・抱負

- ・引き続き関連する研究・教育・社会貢献課題について進めていく。
- ・研究では、既に投稿・校正を行っている論文・書籍の発行を目指す。特に、現在編集中の著作の来年度中の刊行を目指す。
- ・教育では、学会・他大学との連携を図りながら、ゼミ活動の充実を図っていく。また、大学院の演習が始まることから、大学院カリキュラムの制度設計を図っていく。
- ・社会貢献活動では、オンラインを用いた社会貢献活動を充実させていく。